

平成19年11月15日

さつぼろ しぎかい ぎちよう はたせ こうじ さま
札幌市議会議長 畑瀬 幸二様

ぎむきよういく う きかい じっしつてき え ひと
義務教育を受ける機会が実質的に得られていない人たちへの
しゅうがく ほしよう もと ちんじよう
修学保障を求める陳情

札幌市豊平区西岡5条13丁目7-5
札幌遠友塾自主夜間中学
代表者 代表 工藤 慶一
北海道に夜間中学をつくる会
代表者 共同代表 工藤 慶一
011-584-3369

ようし
要旨

- さつぼろえんゆうじゅく じしゅ やかん ちゅうがく たい がっこう きようしつ ていきよう ざいせいてきしえん もと
1 札幌遠友塾自主夜間中学に対する学校教室の提供と財政的支援を求めます。
ほっかいどう こう やくわり にな こうりつ がっこう やかん がつきゅう さつぼろし せっち
2 北海道におけるセンター校の役割を担う公立学校夜間学級を札幌市に設置することを
もと
求めます。

りゆう
理由

さつぼろえんゆうじゅく せんそう ひんこん びようき がくれいき しゅうがく ちゅうこうねん
1 札幌遠友塾には、戦争、貧困、病気など学齢期に修学することのできなかった中高年
れいしゃ ちゅうごくきこく しゃ まな きもち も つどい き
齢者、中国帰国者などが学びの気持ちを持って、集い来ております。札幌遠友塾は1990
かいこう そつぎようせい おく だ ほんねんど めい じゅこう
年に開講し、これまでに253名の卒業生を送り出しました。本年度も、85名が受講しており、
じゅこう せい ふ げんしやう
受講生は増えており減少することはありません。
まな きも つよ も きそ てき きほん てき がくりよく よ
これら学びの気持ちを強く持ちつづけてきた人たちが、基礎的、基本的な学力、読む、
か はな き けいさん がくりよく まな ぼ あんしん がっこう
書く、話す、聞く、計算する学力をはぐくむ「学びの場」を安心して持つことができるよう学校
きようしつ ていきよう ざいせいてきしえん もと
教室の提供と財政的支援を求めます。

こくせいちやうさ ぎむきよういく うけ きかい じっしつてき え
2 国勢調査(200年10月)では、義務教育を受ける機会が実質的に得られていない人た
ちが、大阪に次いで2番目に多いという結果でした。しかし、こうした人たちを受け入れる公
りつ ちゅうがっこう やかん がつきゅう ほっかいどう いっこう おおさかふ こう せっち
立中学校夜間学級は、北海道には一校もありません。(ちなみに、大阪府では11校も設置
まな ぼ ほしよう さつぼろし せっち もと
されています。)学ぶ場を保障するため、札幌市に設置するよう求めます。

ひろ ほっかいどう とくしゅ せい こんご かくち じしゅ やかん ちゅうがっこう かいせつ よそう
また、広い北海道の特殊性から、今後各地で自主夜間中学校の開設が予想されます。
さい しどう じよげん じよき こうりつ ちゅうがっこう やかん がつきゅう ほっかいどう こう
その際、指導助言ができるよう、上記の公立中学校夜間学級に北海道におけるセンター校
やくわり きのう も もと
の役割機能を持たせることを求めます。